

■カーボン・オフセットなどの事業・プロジェクト

	事業者コード	環境寄附対象団体名称
1	K173	株式会社レノバ
2	K174	ジーコンシャス株式会社
3	K175	オリックス株式会社・オリックス環境株式会社
4	K177	株式会社 PEARカーボンオフセット・イニシアティブ
5	K179	ディーアイシージャパン株式会社
6	K180	ライジングコーポレーション
7	K181	サンヨーホームズ株式会社
8	K243	北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会
9	K244	紋別市役所
10	K245	循環型社会創造ネットワーク
11	K246	マイクライメイトジャパン株式会社
12	K247	カーボンフリーコンサルティング株式会社
13	K248	大阪府みどり公社

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K173	団体名	株式会社レノバ
連絡先 (電話／メール)	03-3516-6233	活動ホームページ (URL)	http://www.renovainc.jp/field_co2/os.html
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	インドの風から生まれるCO2削減クレジット		
寄附額合計	¥22,751,568		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥5,195,127	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>【国連認証プロジェクトから創出される排出権を利用してカーボン・オフセットを実施しました】</p> <p>国連が認証するインドにおける風力発電プロジェクト(国連認証番号0991)から創出された排出権を合計996トン購入し、全量を日本国政府の国別登録簿に償却口座へ移転することでカーボンオフセットを実施いたしました。</p> <p>当該プロジェクトは、インドのタミルナドゥ州に風車7百機を設置し2012年までに687万トンものCO2を削減するもので、温暖化対策だけでなく電力の安定供給(約140万人分)、雇用創出に貢献しています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥12,288,614	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>【国連認証プロジェクトから創出される排出権を利用してカーボン・オフセットを実施しました】</p> <p>国連が認証するインドにおける風力発電プロジェクト(国連認証番号0991)から創出された排出権を合計2,324トン購入し、全量を日本国政府の国別登録簿に償却口座へ移転することでカーボンオフセットを実施いたしました。</p> <p>当該プロジェクトは、インドのタミルナドゥ州に風車7百機を設置し2012年までに687万トンものCO2を削減するもので、温暖化対策だけでなく電力の安定供給(約140万人分)、雇用創出に貢献しています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥4,350,370	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>【国連認証プロジェクトから創出される排出権を利用してカーボン・オフセットを実施しました】</p> <p>国連が認証するインドにおける風力発電プロジェクト(国連認証番号0991)から創出された排出権の合計830トン日本国政府の国別登録簿に償却口座へ移転することでカーボンオフセットを実施いたしました。</p> <p>当該プロジェクトは、インドのタミルナドゥ州に風車7百機を設置し2012年までに687万トンものCO2を削減するもので、温暖化対策だけでなく電力の安定供給(約140万人分)、雇用創出に貢献しています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥778,199	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>【国連認証プロジェクトから創出される排出権を利用してカーボン・オフセットを実施しました】</p> <p>国連が認証するインドにおける風力発電プロジェクト(国連認証番号0991)から創出された排出権の合計145トン日本国政府の国別登録簿に償却口座へ移転することでカーボンオフセットを実施いたしました。</p> <p>調達したカーボンクレジットは、2010年から2012年までにインドのタミルナドゥ州に風車7百機を設置し、CO2を大幅削減することで生み出されたカーボンクレジット687万トンの一部です。このプロジェクトは温暖化対策だけでなく電力の安定供給(約140万人分)、雇用創出に貢献しています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥139,258	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)弊社で取り扱いのクレジットを利用し、カーボン・オフセットを実施しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドでの風力発電プロジェクト(CER)(国連認証番号0991) ・J-クレジット(認証番号jv0245) <p>(使途)風力発電プロジェクトでは排出権25トン償却し、有効期限終了後はJ-クレジットにて27トン無効化し、合計27トンのカーボンオフセットを実施しました。</p> <p>※風力発電プロジェクトはカーボンクレジット687万トンの一部です。</p> <p>(効果)風力発電プロジェクトは2010年から2012年にインドのタミルナドゥ州に風車7百機を設置し、CO2を大幅削減することによる温暖化対策だけでなく電力の安定供給、雇用創出に貢献しています。</p> <p>J-クレジットは、東日本大震災にて発生した震災がれきをセメントキルンで石炭代替燃料としながら処理することでGHG排出を1万トン削減するプロジェクトで、被災地復興に貢献しています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K174	団体名	ジーコンシャス株式会社
連絡先 (電話／メール)	0467-27-2296	活動ホームページ (URL)	http://gconscious.jp/news#coreport
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	エコポイントdeカーボンオフセット		
寄附額合計	¥190,995		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥28,902	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<ul style="list-style-type: none"> ◆発行済京都クレジット(CDM/CER)によるカーボンオフセット。 ◆1ポイントで250g-CO2分のクレジットを対象 ◆対象ポイント:28,902ポイント ◆対象オフセットCO2量:7225.5kg-CO2 ◆対象オフセットCO2量を含む8トン分の京都クレジットを国別登録簿システムへの無償移転(償却)を実施 ◆移転したCERクレジット内容 <ul style="list-style-type: none"> ・CDM参照番号:0991 ・原産国:インド共和国 ・CDM内容: <ul style="list-style-type: none"> インド共和国タミルナドゥ州でCDM事業風力発電事業を実施。 風力発電事業はタミルナドゥ紡績工場を現地パートナーとして実施し、704機の風力発電タービンを設置。 この風力発電設備で発電される電力は468MWです。 	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,058	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<ul style="list-style-type: none"> ◆発行済京都クレジット(CDM/CER)によるカーボンオフセット。 ◆1ポイントで250g-CO2分のクレジットを対象 ◆対象ポイント:90,058ポイント ◆対象オフセットCO2量:22514.5kg-CO2 ◆対象オフセットCO2量を含む23トン分の京都クレジットを国別登録簿システムへの無償移転(償却)を実施 ◆移転したCERクレジット内容 <ul style="list-style-type: none"> ・CDM参照番号:0991 ・原産国:インド共和国 ・CDM内容: <ul style="list-style-type: none"> インド共和国タミルナドゥ州でCDM事業風力発電事業を実施。 風力発電事業はタミルナドゥ紡績工場を現地パートナーとして実施し、704機の風力発電タービンを設置。 この風力発電設備で発電される電力は468MWです。 	
	平成25年度		
	寄附額	¥48,986	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<ul style="list-style-type: none"> ◆発行済京都クレジット(CDM/CER)によるカーボンオフセット。 ◆1ポイントで250g-CO2分のクレジットを対象 ◆対象ポイント:48,986ポイント ◆対象オフセットCO2量:12,246.5kg-CO2 ◆対象オフセットCO2量を含む13トン分の京都クレジットを国別登録簿システムへの無償移転(償却)を実施 ◆移転したCERクレジット内容 <ul style="list-style-type: none"> ・CDM参照番号:0991 ・原産国:インド共和国 ・CDM内容: <ul style="list-style-type: none"> インド共和国タミルナドゥ州でCDM事業風力発電事業を実施。 風力発電事業はタミルナドゥ紡績工場を現地パートナーとして実施し、704機の風力発電タービンを設置。 この風力発電設備で発電される電力は468MWです。 	
	平成26年度		
	寄附額	¥16,813	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<ul style="list-style-type: none"> ◆発行済京都クレジット(CDM/CER)によるカーボンオフセット。 ◆1ポイントで250g-CO2分のクレジットを対象 ◆対象ポイント:16,813ポイント ◆対象オフセットCO2量:4,203.25kg-CO2 ◆対象オフセットCO2量を含む5トン分の京都クレジットを国別登録簿システムへの無償移転(償却)を実施 ◆移転したCERクレジット内容 <ul style="list-style-type: none"> ・CDM参照番号:0991 ・原産国:インド共和国 ・CDM内容: <ul style="list-style-type: none"> インド共和国タミルナドゥ州でCDM事業風力発電事業を実施。 風力発電事業はタミルナドゥ紡績工場を現地パートナーとして実施し、704機の風力発電タービンを設置。 この風力発電設備で発電される電力は468MWです。 	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,236	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当社では個人や企業が排出するCO2を相殺するカーボンオフセットプログラムを提供しております。</p> <p>(使途)いただきました寄附を使用し、発行済京都クレジット(CDM/CER)によるカーボンオフセットを実施いたしました。</p> <p>(効果)1ポイントを250g-CO2分のクレジットを対象とし、6,236ポイント分となります。 対象オフセットCO2量は1,559kg-CO2となり、対象オフセットCO2量を含む2トン分の京都クレジットを国別登録簿システムへの無償移転(取消)を実施いたしました。</p> <p>移転したCERクレジット内容は <ul style="list-style-type: none"> ・CDM参照番号:0991 ・原産国:インド共和国 ・CDM内容:インド共和国タミルナドゥ州でCDM事業風力発電事業の実施 </p> <p>風力発電事業はタミルナドゥ紡績工場を現地パートナーとして実施し、704機の風力発電タービンを設置しました。 この風力発電設備で発電される電力は468MWです。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K175	団体名	オリックス株式会社・オリックス環境株式会社
連絡先 (電話／メール)	03-5730-0155	活動ホームページ (URL)	http://www.orix.co.jp/grp/sustainability/environment/disclosures.html
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	再生可能エネルギープロジェクトから創出された排出枠の活用によるカーボン・オフセット		
寄附額合計	¥24,167,002		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥5,645,807	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>弊社では、住宅エコポイントによる寄附金額でカーボン・オフセット(個人の生活や事業活動等からの温室効果ガス排出量のうち、自助努力だけでは削減できない量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量＝排出枠(クレジット)で埋め合わせすること)を実施しています。</p> <p>カーボン・オフセットに用いたクレジット(CER)の創出元となったプロジェクトは以下の2種類になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インド マハラシュトラ州 風力発電事業 ・中国 貴州省 水力発電事業 <p>今回ご報告の対象期間における寄附額(5,645,807円)で実施したオフセット量は1,391 t-CO2相当です。 この活動により、京都議定書の第一約束期間に日本が課せられた温室効果ガスの削減目標に貢献することになります。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥12,929,664	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>弊社では、住宅エコポイントによる寄附金額でカーボン・オフセット(個人の生活や事業活動等からの温室効果ガス排出量のうち、自助努力だけでは削減できない量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量＝排出枠(クレジット)で埋め合わせすること)を実施しています。</p> <p>カーボン・オフセットに用いたクレジット(CER)の創出元となったプロジェクトは以下の2種類になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インド マハラシュトラ州 風力発電事業 ・中国 貴州省 水力発電事業 <p>今回ご報告の対象期間における寄附額(12,929,664円)で実施したオフセット量は3,200 t-CO2相当です。 この活動により、京都議定書の第一約束期間に日本が課せられた温室効果ガスの削減目標(1990年比マイナス6%)に貢献することになります。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥4,617,382	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>弊社では、住宅エコポイントによる寄附金額でカーボン・オフセット(個人の生活や事業活動等からの温室効果ガス排出量のうち、自助努力だけでは削減できない量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量＝排出枠(クレジット)で埋め合わせすること)を実施しています。</p> <p>カーボン・オフセットに用いたクレジット(CER)の創出元となったプロジェクト(CDM)は以下の2種類になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インド マハラシュトラ州 風力発電事業 ・中国 貴州省 水力発電事業 <p>今回ご報告の対象期間における寄附額(4,617,382円)で実施したオフセット量は1,141 t-CO2相当です。 この活動により、京都議定書の第一約束期間に日本が課せられた温室効果ガスの削減目標(1990年比マイナス6%)に貢献することになります。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥822,963	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>弊社では、住宅エコポイントによる寄附金額でカーボン・オフセット(個人の生活や事業活動等からの温室効果ガス排出量のうち、自助努力だけでは削減できない量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量＝排出枠(クレジット)で埋め合わせすること)を実施しています。</p> <p>カーボン・オフセットに用いたクレジット(CER)の創出元となったプロジェクト(CDM)は以下の2種類になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インド タミル・ナドゥ州 風力発電事業 ・中国 貴州省 水力発電事業 <p>今回ご報告の対象期間における寄附額(822,963円)で実施したオフセット量は205 t-CO2相当です。 この活動により、京都議定書の第一約束期間に日本が課せられた温室効果ガスの削減目標(1990年比マイナス6%)に貢献することになります。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥151,186	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>弊社では、住宅エコポイントによる寄附金額でカーボン・オフセット(個人の生活や事業活動等からの温室効果ガス排出量のうち、自助努力だけでは削減できない量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量＝排出枠(クレジット)で埋め合わせすること)を実施しています。</p> <p>カーボン・オフセットに用いたクレジット(CER)の創出元となったプロジェクト(CDM)は以下の2種類になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インド タミル・ナドゥ州 風力発電事業 ・中国 貴州省 水力発電事業 <p>今回ご報告の対象期間における寄附額(151,186円)で実施したオフセット量は39 t-CO2相当です。 この活動により、京都議定書の第一約束期間に日本が課せられた温室効果ガスの削減目標(1990年比マイナス6%)に貢献することになります。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K177	団体名	株式会社 PEARカーボンオフセット・イニシアティブ
連絡先 (電話／メール)	090-5209-9663	活動ホームページ (URL)	http://www.pear-carbon-offset.org/project/report.html
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	中国重慶バイオガスマイクロダイジェスター(BMD) CDMプロジェクト		
寄附額合計	¥144,669		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥28,954	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>本事業はプログラムCDMで事業化を行い、生み出された排出削減クレジットでカーボンオフセットを行います。</p> <p>1kgCO₂e 4円で環境寄附に見合う排出削減クレジットを割り当て、PEARが失効(日本政府の取消口座へ移転)手続きをしてカーボンオフセットを行います。2009年12月にValidationを開始し、2011年9月にOn-siteバリデーションを実施し、2012年中の国連登録を目指しています。</p> <p>本事業の排出削減クレジット発行後、ポイント取得者からの寄附3,175円については794kgCO₂e、交換商品提供事業者からの寄附25,779円については6,445kgCO₂eのカーボンオフセットを行います。尚、本事業は、洞爺湖サミットのカーボンオフセットの助成を受けており、そのカーボンオフセット後に、住宅エコポイントのカーボンオフセットを行います。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,058	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>本事業は、現在、重慶市の開県に520個のBMDを建設し、プログラムCDMでさらに数を増やし、生み出された排出削減クレジットでカーボンオフセットを行います。</p> <p>1kgCO₂e 4円で環境寄附に見合う排出削減クレジットを割り当て、PEARが失効(日本政府の取消口座へ移転)手続きをしてカーボンオフセットを行います。2009年12月にValidationを開始し、寄附金を全額使用して2011年9月にOn-siteバリデーションを実施し、日本政府と中国政府の承認を取得し、2013年中の国連登録を目指しています。</p> <p>本事業の排出削減クレジット発行後、ポイント取得者からの寄附90,058円については22,515kgCO₂eのカーボンオフセットを行います。尚、本事業は、洞爺湖サミットのカーボンオフセットの助成を受けており、そのカーボンオフセット後に、エコポイントのカーボンオフセットを行います。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥2,608	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>本事業は、現在、重慶市の開県に520個のBMDを建設し、プログラムCDMでさらに数を増やし、生み出された排出削減クレジットでカーボンオフセットを行います。</p> <p>1kgCO₂e 4円で環境寄附に見合う排出削減クレジットを割り当て、PEARが失効(日本政府の取消口座へ移転)手続きをしてカーボンオフセットを行います。2009年12月にValidationを開始し、寄附金を全額使用して2011年9月にOn-siteバリデーションを実施し、日本政府と中国政府の承認を取得し、2014年中の国連登録を目指しています。</p> <p>本事業の排出削減クレジット発行後、カーボンオフセットを行います。尚、本事業は、洞爺湖サミットのカーボンオフセットの助成を受けており、そのカーボンオフセット後に、エコポイントのカーボンオフセットを行います。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥16,813	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>本事業は、現在、重慶市の開県に520個のBMDを建設し、プログラムCDMでさらに数を増やし、生み出された排出削減クレジットでカーボンオフセットを行います。</p> <p>1kgCO₂e 4円で環境寄附に見合う排出削減クレジットを割り当て、PEARが失効(日本政府の取消口座へ移転)手続きをしてカーボンオフセットを行います。2009年12月にValidationを開始し、寄附金を全額使用して2011年9月にOn-siteバリデーションを実施し、日本政府と中国政府の承認を取得し、2015年中の国連登録を目指しています。</p> <p>本事業の排出削減クレジット発行後、カーボンオフセットを行います。尚、本事業は、洞爺湖サミットのカーボンオフセットの助成を受けており、そのカーボンオフセット後に、エコポイントのカーボンオフセットを行います。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,236	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>本事業は、現在、重慶市の開県に520個のBMDを建設し、プログラムCDMでさらに数を増やし、生み出された排出削減クレジットでカーボンオフセットを行います。</p> <p>1kgCO₂e 4円で環境寄附に見合う排出削減クレジットを割り当て、PEARが失効(日本政府の取消口座へ移転)手続きをしてカーボンオフセットを行います。2009年12月にバリデーションを開始し、寄附金を全額使用して2011年9月にOn-siteバリデーションを実施し、日本政府と中国政府の承認を取得し、2016年中の国連登録を目指しています。</p> <p>本事業の排出削減クレジット発行後、カーボンオフセットを行います。尚、本事業は、洞爺湖サミットのカーボンオフセットの助成を受けており、そのカーボンオフセット後に、エコポイントのカーボンオフセットを行います。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K179	団体名	ディーアイシージャパン株式会社
連絡先 (電話／メール)	026-255-5503	活動ホームページ (URL)	http://www.greenbiz.jp/seminar.htm
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	グリーン電力証書発行事業		
寄附額合計	¥192,746		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,254	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・住宅エコポイント3150ポイントを、太陽光発電100kWhの「グリーン電力証書」に交換しお渡ししました。</p> <p>・グリーン電力証書を通じて、グリーンエネルギーの普及とPRのために利用しました。 「第10回 国際オートアフターマーケット EXPO2012」(2012年3月14日～16日開催)ではイベントの一部の電力をグリーンエネルギーで賄うことを提案し、実践した。 イベント期間中は、グリーン電力証書・グリーンエネルギーのPRを活動し、より多くの方たちにとって頂くことに努めた。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,458	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当社では「グリーン電力」の取引を行うと同時に、クリーンなエネルギーの活用、普及促進に努めています。</p> <p>(使道)「オートアフターマーケット2012沖縄」(2012年9月22日、23日開催)及び「国際オートアフターマーケット2013」(2013年3月13日～15日開催)に参加。イベント期間中の自社ブースはグリーン電力を使用し、グリーン電力証書・グリーンエネルギーのPR活動の為に資金として使用させていただきました。</p> <p>(効果)多くの来場者、出展者に「グリーン電力証書」を通してクリーンエネルギーの必要性について興味を持って頂くことが出来ました。引き続きクリーンエネルギーの普及に取り組んでいきます。 (エコポイント「3150ポイント」で太陽光100kWhのグリーン電力証書と交換する準備をしておりましたが、今回は希望者がいませんでした。)</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥48,985	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当社では「グリーン電力」の取引を行うと同時に、クリーンなエネルギーの活用、普及促進に努めています。</p> <p>(使途)「オートサービスショー2013」(2013年7月5日～7日開催)及び「国際オートアフターマーケットEXPO2014」(2013年3月12日～14日開催)に参加。イベント期間中の自社ブースはグリーン電力を使用し、グリーン電力証書・グリーンエネルギーのPR活動の為に資金として使用させていただきました。</p> <p>(効果)多くの来場者、出展者に「グリーン電力証書」を通してクリーンエネルギーの必要性について興味を持って頂くことが出来ました。引き続きクリーンエネルギーの普及に取り組んでいきます。 (エコポイント「3150ポイント」で太陽光100kWhのグリーン電力証書と交換する準備をしておりましたが、今回は希望者がいませんでした。)</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥16,813	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当社では「グリーン電力(グリーン電力証書)」の取引を行うと同時に、クリーンなエネルギーの活用、普及促進に努めています。</p> <p>(使途)ご寄附頂いた16,813円は、「国際オートアフターマーケットEXPO2014」(2014年3月12日～2014年3月14日開催)の当社ブースで使用したグリーン電力(グリーン電力証書)の購入代金(7,012円)と宣伝広告費の一部として活用させていただきました。</p> <p>(効果)多くの来場者、出展者に「グリーン電力(グリーン電力証書)」を通してクリーンエネルギーの必要性について興味を持って頂くことが出来ました。引き続きクリーンエネルギーの普及に取り組んでいきます。 (エコポイント「3150ポイント」で太陽光100kWhのグリーン電力証書と交換する準備をしておりましたが、今回は希望者がいませんでした。)</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,236	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当社では「グリーン電力(グリーン電力証書)」の取引を行うと同時に、クリーンなエネルギーの活用、普及促進に努めています。</p> <p>(使途)ご寄附頂いた6,236円は、「第13回国際オートアフターマーケットEXPO2015」(2015/3/11～13)と「第34回オートサービスショー2015」(2015/6/19～21)の当社ブースで使用したグリーン電力(グリーン電力証書)の購入代金(13,954円)の一部として活用させていただきました。</p> <p>(効果)多くの来場者、出展者に「グリーン電力(グリーン電力証書)」を通してクリーンエネルギーの必要性について興味を持って頂くことが出来ました。引き続きクリーンエネルギーの普及に取り組んでいきます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K180	団体名	株式会社ライジングコーポレーション
連絡先 (電話／メール)	03-6911-3671	活動ホームページ (URL)	http://www.group-rising.co.jp/
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	カーボン・オフセット推進プロジェクト		
寄附額合計	¥191,045		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥28,954	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>東京都を中心に、首都圏で太陽光発電システム等の普及推進活動を行っております。</p> <p>東京都太陽エネルギー見本市：江東区、荒川区、八王子市、武蔵村山市および武蔵野市での環境啓蒙活動への参加、5月朝日新聞社主催「住まいづくりフェア」への出展(¥613,550)、10月大阪市ECOフェスティバル主催「ガレージ・セール・イン OSAKA TOWN」の「太陽光発電啓発ゾーン」への出展および12月太陽光発電協会主催「PV JAPAN2011」への出展費用(¥1,061,550)の一部(ブース借料、展示台等装飾費用)に使わせて頂きました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,057	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>東京都を中心に、首都圏で太陽光発電の普及推進活動を行っております。</p> <p>5月住宅自然エネルギー展(431,550円)、6月朝日住まいづくりフェア(182,000円)、12月PVジャパン2011(704,550円)への出店費用の一部(ブース借料、展示台等装飾費用)に全額使用させて頂きました。</p> <p>上記により、弊社への問い合わせも8件(前年比3件増)あり、また、弊社からの提案について、興味を示される方の割合が倍増しており、太陽光発電に対する理解度が増したと考えます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥48,985	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>東京都主催『東京都太陽エネルギー見本市』が、八王子市、江東区、葛飾区、荒川区、三鷹市、豊島区及び中野区で、開催され、環境啓蒙活動への参加経費(7,000円)に使用いたしました。</p> <p>小田急ハウジング主催『海老名リフォームフェア』に、出展参加いたしました。出展費用(10,000円)に使用いたしました。</p> <p>さらに一般社団法人太陽光発電協会主催『PV JAPAN 2013』への出展費用(1,300,000円)の一部に、全額48,985円を使用させて頂きました。</p> <p>多数の来場者があり、弊社ブースには、300名ほどが来店されました。太陽光発電システムのPRと弊社の知名度向上に大いに役立ちました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥16,813	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>1. 使用対象 東京都下市区町村32ヶ所で行われた、「太陽エネルギー見本市」(2013年4月1日～2014年3月31日開催)のうち9会場参加。太陽光発電システム説明員の派遣経費として、9会場 * 2人 * 20,000円 = 360,000円の一部として、16,813円を使用しました。</p> <p>2. 成果 来場者へ太陽光発電システムの説明を行ない、理解を得ることが出来ました。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,236		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>東京都を中心に、首都圏で太陽光発電システム等の普及推進活動を行っております。</p> <p>寄附金は、2015年7月に開催されたJEPA主催「PV JAPAN2015」への出店費用(約200万円)の一部(ブース借料、展示台等装飾費用)に使わせて頂きました。</p> <p>この催しでは、約600名の方にブースにお越し頂き、太陽光発電システムおよび蓄電池の案内をさせて頂きました。太陽光発電システムに関しては専門的なお問い合わせが多かったが、蓄電池に関しては価格や納期に関するお問い合わせが多数寄せられました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K181	団体名	三洋ホームズ株式会社
連絡先 (電話／メール)	06-6578-3409	活動ホームページ (URL)	http://www.sanyohomes.co.jp/
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	太陽光発電によるグリーン電力普及拡大プロジェクト		
寄附額合計	¥208,832		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,254	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当社では、自然エネルギーの普及・促進を行うため「太陽光発電によるグリーン電力普及拡大プロジェクト」を実施しております。本プロジェクトにより、家庭での低炭素社会の実現を目指し、太陽光発電システムの設置を促進しています。初期設置費用が高額な太陽光発電設置者へのインセンティブとして「グリーン電力証書」を活用し、設置率の向上を促進しています。</p> <p>(使途)このたびの29,254円の寄附は設置した太陽光発電の環境価値から得られる「グリーン電力(1,951kW)」の費用に当て、太陽光発電設置者へのインセンティブとし還元しております。</p> <p>(効果)本取組み等の効果により当社での住宅購入者の約8割の方が太陽光発電を設置しています。当社では更なる環境負荷の低減を目指し、「省エネ・創エネ」技術の開発と「エコ住宅」の普及・促進に邁進してまいります。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥100,446	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当社では、自然エネルギーの普及・促進を行うため「太陽光発電によるグリーン電力普及拡大プロジェクト」を実施しております。本プロジェクトにより、家庭での低炭素社会の実現を目指し、太陽光発電システムの設置を促進しています。初期設置費用が高額な太陽光発電設置者へのインセンティブとして「グリーン電力」を活用し、設置率の向上を促進しています。</p> <p>(使途)このたびの100,446円の寄附は設置した太陽光発電の環境価値から得られる「グリーン電力(6,697kW)」の費用に当て、全額太陽光発電設置者へのインセンティブとし還元しております。</p> <p>(効果)本取組み等の効果により当社での住宅購入者の約8割の方が太陽光発電を設置しています。当社では更なる環境負荷の低減を目指し、「省エネ・創エネ」技術の開発と「エコ住宅」の普及・促進に邁進してまいります。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥54,085	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当社では、自然エネルギーの普及・促進を行うため「太陽光発電によるグリーン電力普及拡大プロジェクト」を実施しております。本プロジェクトにより、家庭での低炭素社会の実現を目指し、太陽光発電システムの設置を促進しています。初期設置費用が高額な太陽光発電設置者へのインセンティブとして「グリーン電力」を活用し、設置率の向上を促進しています。</p> <p>(使途)このたびの54,085円の寄附は設置した太陽光発電の環境価値から得られる「グリーン電力(3,606kW)」の費用に当て、全額太陽光発電設置者へのインセンティブとし還元しております。</p> <p>(効果)本取組み等の効果により当社での住宅購入者の約8割の方が太陽光発電を設置しています。当社では更なる環境負荷の低減を目指し、「省エネ・創エネ」技術の開発と「エコ住宅」の普及・促進に邁進してまいります。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,812	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当社では、自然エネルギーの普及・促進を行うため「太陽光発電によるグリーン電力普及拡大プロジェクト」を実施しております。本プロジェクトにより、家庭での低炭素社会の実現を目指し、太陽光発電システムの設置を促進しています。初期設置費用が高額な太陽光発電設置者へのインセンティブとして「グリーン電力」を活用し、設置率の向上を促進しています。</p> <p>(使途)このたびの17,812円の寄附は設置した太陽光発電の環境価値から得られる「グリーン電力(1,188kW)」の費用に当て、全額太陽光発電設置者へのインセンティブとし還元しております。</p> <p>(効果)本取組み等の効果により当社での住宅購入者の約7割の方が太陽光発電を設置しています。当社では更なる環境負荷の低減を目指し、「省エネ・創エネ」技術の開発と「エコ住宅」の普及・促進に邁進してまいります。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,235	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当社では、自然エネルギーの普及・促進を行うため「太陽光発電によるグリーン電力普及拡大プロジェクト」を実施しております。本プロジェクトにより、家庭での低炭素社会の実現を目指し、太陽光発電システムの設置を促進しています。初期設置費用が高額な太陽光発電設置者へのインセンティブとして「グリーン電力」を活用し、設置率の向上を促進しています。</p> <p>(使途)このたびの7,235円の寄附は設置した太陽光発電の環境価値から得られる「グリーン電力(483kW)」の費用に当て、全額太陽光発電設置者へのインセンティブとし還元しております。</p> <p>(効果)本取組み等の効果により当社での住宅購入者の約7割の方が太陽光発電を設置しています。当社では更なる環境負荷の低減を目指し、「省エネ・創エネ」技術の開発と「エコ住宅」の普及・促進に邁進してまいります。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K243	団体名	北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会
連絡先 (電話／メール)	01655-4-2511	活動ホームページ (URL)	http://hokkaido-tree.main.jp/4rest/
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	北海道4町連携による間伐促進型森林づくり事業		
寄附額合計	¥78,132		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥54,294	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)本協議会は、森林・林業を基盤としたまちづくりを進める4町(足寄町・下川町・滝上町・美幌町)で構成されており、森林バイオマスの二酸化炭素吸収機能等を活用しながら、山村地域の活性化に向けた取り組みを行っている。</p> <p>(使途)環境省が創設したJ-VER(オフセット・クレジット)制度に基づき、4町の町有林の間伐を実施しています。(H20/4～H25/3まで887ha間伐を実施。9,535t-CO2のクレジットを創出)H24年度は、117haの間伐を行っており、いただいた寄附分はその経費の一部として活用させていただいています。</p> <p>(効果)適正な間伐の実施により、森林の二酸化炭素吸収量を増加させるとともに、適正な森林の保全が図られています。また、クレジットによる追加的資金により、持続可能な森林経営が実現されています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,607	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)本協議会は、森林・林業を基盤としたまちづくりを進める4町(足寄町・下川町・滝上町・美幌町)で構成されており、森林バイオマスの二酸化炭素吸収機能等を活用しながら、山村地域の活性化に向けた取り組みを行っている。</p> <p>(使途)環境省が創設したJ-VER(オフセット・クレジット)制度に基づき、4町の町有林の間伐を実施しています。H25年度は、104haの間伐を行っており、いただいた寄附分はその経費の一部として活用させていただいています。</p> <p>(効果)適正な間伐の実施により、森林の二酸化炭素吸収量を増加させるとともに、適正な森林の保全が図られています。また、クレジットによる追加的資金により、持続可能な森林経営が実現されています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,231	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)本協議会は、森林・林業を基盤としたまちづくりを進める4町(足寄町・下川町・滝上町・美幌町)で構成されており、森林バイオマスの二酸化炭素吸収機能等を活用しながら、山村地域の活性化に向けた取り組みを行っています。</p> <p>(使途)環境省が創設したJ-VER(オフセット・クレジット)制度に基づき、4町の町有林の間伐を実施(9,535t-CO2のクレジットを創出)しており、今回いただいた寄附はそのカーボン・オフセット事業に係る経費の一部(間伐実施の整備費用)として活用させていただきました。</p> <p>(効果)適正な間伐の実施により、森林の二酸化炭素吸収量を増加させるとともに、適正な森林の保全が図られています。また、クレジットによる追加的資金により、持続可能な森林経営が実現されています。</p>	

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K244	団体名	紋別市役所
連絡先 (電話／メール)	0158-24-2111	活動ホームページ (URL)	http://mombetsu.jp/
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	紋別市有林間伐促進型森づくり事業		
寄附額合計	¥533,433		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥209,213	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)紋別市は、様々な森林機能を維持するため、自然環境に配慮した森林づくりを行っています。その一環として、森林管理レベルの向上を図り、豊かな自然環境の維持と持続的な木材生産の両立を目指すSGEC森林認証制度に取り組んでいます。</p> <p>(用途)今回の環境寄附額209,213円は、当市の予算を合わせまして、SGEC森林認証の普及・推進を行う「紋別市認証材活用住宅助成事業」に活用させていただきます。本助成事業では、森林認証材流通加速や地域活性化等を目的としております。</p> <p>(効果)SGEC材利活用推進により、生物多様性に優れ、水や土を守る持続可能な森林管理と、経済波及効果による地域振興に寄与しています。また、適切な森林管理と木材利活用により、空気中の二酸化炭素を吸収・固定することで、地球温暖化防止対策となります。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥162,989	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)紋別市は、様々な森林機能を維持するため、自然環境に配慮した森林づくりを行っています。その一環として、森林管理レベルの向上を図り、豊かな自然環境の維持と持続的な木材生産の両立を目指すSGEC森林認証制度に取り組んでいます。</p> <p>(用途)今回の環境寄附額162,989円は、当市の予算と合わせまして、SGEC森林認証の普及・推進を行う「紋別市認証材活用住宅助成事業」に活用させていただきます。本助成事業では、森林認証材流通加速や地域活性化等を目的としております。</p> <p>(効果)SGEC材利活用推進により、生物多様性に優れ、水や土を守る持続可能な森林管理と、経済波及効果による地域振興に寄与しています。また、適切な森林管理と木材利活用により、空気中の二酸化炭素を吸収・固定することで、地球温暖化防止対策となります。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥161,231	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)紋別市は、様々な森林機能を維持するため、自然環境に配慮した森林づくりを行っております。その一環として、森林管理レベルの向上を図り、豊かな自然環境の維持と持続的な木材生産の両立を目指すSGEC森林認証制度に取り組み、8月から12月にかけて大山、八十土、弥生、下立牛の4地区で114.5haの間伐を行っております。</p> <p>(用途)今回の環境寄附額161,231円は、当市の予算と合わせまして、SGEC森林認証の普及・推進を行う「紋別市認証材活用住宅助成事業」に活用させていただきます。本助成事業では、森林認証材流通加速や地域活性化等を目的としております。</p> <p>(効果)本助成事業は、毎年市内で10件以上の認証材活用住宅の新築及び増改築工事を行うことが出来ました。今後も森林の保全や林業・林産業の持続的な活性化に向けて、取り組んでいきます。</p>	

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K245	団体名	特定非営利活動法人循環型社会創造ネットワーク
連絡先 (電話／メール)	0178-41-2400	活動ホームページ (URL)	http://www.npo-cross.jp
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	青森県ふるさと電力証書(ソーラー)		
寄附額合計	¥70,829		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥47,792	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、青森県内の太陽光発電設置世帯のうちの68世帯の太陽光発電でつくられた環境価値を証書化(青森県ふるさと電力証書)し、その売上の一部を参加世帯に還元しております。そのことで、太陽光発電を導入する際の経済的な負担を軽減し、太陽光発電の普及・促進を図り、地球温暖化防止に貢献しています。</p> <p>(用途)皆様から頂いた寄附は3,039kWhの青森県ふるさと電力証書の費用にあて、参加世帯のうち53世帯に24,312円を還元しております。差額の23,480円はグリーン電力認証団体への支払いに充当しております。</p> <p>(効果)参加世帯への還元により、太陽光発電のイニシャルコストやランニングコストにご活用いただくことにより、太陽光発電の普及・促進に寄与しております。また、約1,823k-CO2を削減したとみなされますので、地域の地球温暖化防止に貢献しております。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥16,806	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、青森県内の太陽光発電設置世帯のうちの68世帯の太陽光発電でつくられた環境価値を証書化(青森県ふるさと電力証書)し、その売上の一部を参加世帯に還元しております。そのことで、太陽光発電を導入する際の経済的な負担を軽減し、太陽光発電の普及・促進を図り、地球温暖化防止に貢献しています。</p> <p>(用途)皆様から頂いた寄附は1,041kWhの青森県ふるさと電力証書にあて、参加世帯のうち63世帯に8,328円を還元しております。差額の8,478円はグリーン電力認証団体への支払いなどに充当しております。</p> <p>(効果)参加世帯への還元により、太陽光発電のイニシャルコストやランニングコストにご活用いただくことにより、太陽光発電の普及・促進に寄与しております。また、約615k-CO2を削減したとみなされますので、地域の地球温暖化防止に貢献しております。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,231	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、青森県内の太陽光発電設置世帯のうちの71世帯の太陽光発電でつくられた環境価値を証書化(青森県ふるさと電力証書)し、その売上の一部を参加世帯に還元しております。そのことで、太陽光発電を導入する際の経済的な負担を軽減し、太陽光発電の普及・促進を図り、地球温暖化防止に貢献しています。</p> <p>(用途)皆様から頂いた寄附は408kWhの青森県ふるさと電力証書にあて、参加世帯のうち58世帯に3,264円を還元しております。差額の2,967円はグリーン電力認証団体への支払いなどに充当しております。</p> <p>(効果)参加世帯への還元により、太陽光発電のイニシャルコストやランニングコストにご活用いただくことにより、太陽光発電の普及・促進に寄与しております。また、約236k-CO2を削減したとみなされますので、地域の地球温暖化防止に貢献しております。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K246	団体名	マイクライメイトジャパン株式会社
連絡先 (電話／メール)	03-6228-3616	活動ホームページ (URL)	http://myclimatejapan.com
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	北海道広尾町有林における森林吸収プロジェクト ～サンタの森づくりプロジェクト～		
寄附額合計	¥1,017,237		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥301,304	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人では、ご寄附頂きましたポイント1ポイントにつき、北海道広尾町有林における間伐事業によって創出されたオフセット・クレジット(J-VER)を約0.1kgのCO2削減量相当を購入することに充当いたしました。これにより地域の自然を守り健全な森林を育成する事業および採算性の厳しい地域林業の雇用維持に貢献しています。</p> <p>(使途) 期間中のご寄附金額301,304円のうち、294,000円を北海道広尾町有林におけるJ-VER購入に充当し、28t-CO2の二酸化炭素削減に寄与いたしました。残り7,304円は次年度に繰り越します。</p> <p>(広尾町について) 広尾町は日本で唯一のサンタの町として、クリスマスシーズンには多種多様な取組を実施しています。この取組とJ-VERによる収入を組み合わせることにより、二酸化炭素の削減だけでなく地域活性化にも取り組んでおります。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥506,185	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人では、ご寄附頂きましたポイントにつき、北海道広尾町有林における間伐事業によって創出されたオフセット・クレジット(CO2削減量)を購入することに充当いたしました。これにより地域の自然を守り健全な森林を育成する事業および採算性の厳しい地域林業の雇用維持に貢献します。</p> <p>(使途) 復興支援・住宅エコポイント事業を通じてご利用者様からいただいた寄附金506,185円及び先年度繰越分7,304円のうち、496,683円を北海道広尾町有林における間伐事業によって創出されたオフセット・クレジットの購入に充当しました。残り16,806円は次年度に繰越をし、経費に充当する予定です。</p> <p>(広尾町について) 広尾町は日本で唯一のサンタの町として、クリスマスシーズンに多様な取組を実施しています。本取組とJ-VERによる収入を組み合わせることにより、二酸化炭素の削減と地域活性化に取り組んでおります。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥209,748	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 北海道広尾町の町有林約200haに適宜間伐を行い、森林のCO2吸収量増大によるカーボン・オフセットクレジットを発行します。 このクレジットを購入することにより森林への資金還流を行い、安定的・持続的に二酸化炭素を吸収する森づくりをおこないます。</p> <p>(使途) 今回の寄附金および前回繰越金(16,806円)を用いて、広尾町のカーボン・オフセットクレジット(森林J-VER"北海道広尾町有林における森林吸収プロジェクト")を3回に分け購入し、無効化しました。 ①: 45t-CO2(無効化日: 2014年9月29日)、②: 16t-CO2(同: 2015年6月9日)、③: 2t-CO2(同: 2015年11月2日) 計: 63t-CO2</p> <p>(効果) J-VERの販売益は本町産業と密接なつながりを持つ町有林整備に活用されています。 販売をサポートしていくことで森林の機能維持・推進に貢献し、地域活性化に繋がります。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K247	団体名	カーボンフリーコンサルティング株式会社
連絡先 (電話／メール)	045-222-3400	活動ホームページ (URL)	http://carbonfree.co.jp/app/topics/index.php?id=201
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	喜多方市森林整備加速化プロジェクト		
寄附額合計	¥66,098		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥48,292	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境寄附金を利用して被災地県産のクレジットを購入しています。目安としては1ポイントにつき50g程度のCO2がカーボン・オフセットされています。</p> <p>以前は、釜石地方森林組合の森林緑化創造事業を目的としたクレジットを購入していましたが、在庫のクレジットがなくなったため、被災地県産の福島県喜多方森林整備加速プロジェクトのクレジットをエコポイント環境寄附金を満額用いて購入しています。今回のカーボン・オフセットでは、先の震災によって被災した福島県地方の森林組合によって創出された排出権を使用しております。</p> <p>活動概要としては、森林が有する公益的機能を適切に発揮させるため、オフセット・クレジット制度を活用することにより、間伐を実施するというものです。この活動によって地球温暖化防止に寄与しています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,806	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>以前は、当該ポイントを釜石地方森林組合や福島県喜多方市が創出した森林吸収のクレジット購入に充てていたが、被災地地域を幅広く支援するため、被災地域の事業者が省エネルギー導入で削減できたCO2量をクレジット化したものも活用した。</p> <p>よって、これまでの累積ポイントを満額用いて以下のクレジット購入に利用した。</p> <p>(1)株式会社ジョイスの食品スーパーにおける照明設備の更新(LED化)に10t-CO2 (2)株式会社ケディカのめっき工場におけるボイラーの更新(灯油→都市ガス)に3t-CO2 (3)横山食品株式会社(仙台工場・秋田工場)食品工場(大豆)におけるファン類へのインバーター制御の導入に6t-CO2 (4)有限会社トミーランドリーのリネン工場におけるボイラーの更新(重油→都市ガス)に1t-CO2 (5)米川生産組合の米川生産森林組合有林間伐促進森林吸収プロジェクトに3t-CO2</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K248	団体名	一般財団法人大阪府みどり公社
連絡先 (電話／メール)	06-6266-1271	活動ホームページ (URL)	http://midori-soumu.sakura.ne.jp/htdocs/carbonoffset/ecopoint/report
対象分野	カーボン・オフセット等		
事業・ プロジェクト名	大阪版カーボン・オフセット制度推進事業		
寄附額合計	¥71,828		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥47,792	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>J-クレジット等創出希望事業者3社に対し、クレジットの申請支援や認証支援の事務費の一部に充当。うち、日本ドリーム・サービズ株式会社は登録・認証を経て、クレジット(J-VER)を創出(233t-CO2)、(株)関西CIC研究所(登録NO.7)と株式会社村上製作所(登録NO.26)はJ-クレジット制度のプロジェクトとして登録完了。</p> <p>また、創出クレジットを有効活用し環境にやさしい取組みを誘導するためのモデル事例として、率先して公社刊行物(ハイキングマップ、機関紙)のカーボン・オフセットを行うためのクレジット購入(2t-CO2)や、大阪府が事務局を務める「豊かな環境づくり大阪府民会議」をカーボン・オフセットするために、同会議事務局に対し、会議が開催される大阪市内で創出されたクレジット1トンを寄附(住宅エコポイントの寄附金であることを同会議で発表)するとともに、カーボン・オフセット手続きの事務費の一部に充当するなど、今回の寄附は全額使用した。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥16,806	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>カーボン・オフセット制度の普及促進に資するため、2014年6月7日に開催された「大阪南港エコフェスタ」(主催者:大阪府・大阪市・豊かな環境づくり大阪府民会議・なにわエコ会議・おおさかATCグリーンエコプラザ)のイベント、ユニチカ株式会社のテラマック製定期及び一般財団法人大阪府みどり公社が発行する刊行物(金剛山の野鳥、金剛山の野草(1、2、3))のカーボン・オフセット用のクレジット購入費用(3t-CO2、¥16,200)の一部に充当した。</p> <p>また、民間事業者におけるカーボン・オフセットの取組推進を図るため、モデル的事例として、株式会社ウイルハーツやユニチカ株式会社の技術支援経費の一部に充当した。 本取組により、寄附金額の¥16,806の全額を使用した。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,230	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当社は、「近畿J-クレジット等推進協議会」の運営により、府民参加によるカーボン・オフセット制度の普及を推進しています。</p> <p>(用途)制度の周知と府民への理解の浸透を図るため、モデル事例として、率先して公社刊行物や、大阪府や大阪ガス株式会社と連携して環境イベント「大阪南港エコフェスタ」のカーボンオフセット用クレジット購入代金の一部に充当するとともに、普及啓発用パネルの作製の一部にも寄附金を活用させていただきました。</p> <p>(効果)南港エコフェスタでは1300人の来場者があり、刊行物も増刷を検討するなど順調に推移しており、自治体や事業者、各種団体のカーボン・オフセットの取組みを誘導することができました。</p>	